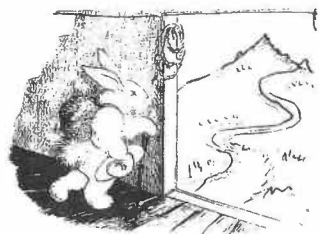


11月の 園便り



「ぼくにげちゃうよ」
マーガレット・W・ブラウン

令和2年 新潟青陵幼稚園 園長 加藤 由美子

(4歳年中) 花子と二人の時、なにげなく

母「花子がいてくれてよかったなー」

花子「なんで？花子役にたたないよ…」

母「・・・」言葉に詰まりました。私が言ったのか、兄や姉が言ったのか

「花子じゃ、役に立たないから…」と言ったのを心のどこかで覚えていたのでしょうか。たぶん深い意味で捉えてはいなかったのですが、心が痛みました。

母「ほんとに役に立たないの？」と改めて聞き直すと、しばらく考えてから

花子「あ、たまねぎとかニンジン、の皮がむける」・・・「お米も洗える」といろいろ

母「な～んだ、花子役に立ってるじゃない！」というと笑ってました。

お姉ちゃんは花子と遊んでくれるし、お兄ちゃんもお世話してくれるし、お父ちゃんは会社行ってお仕事してくれるし、お母ちゃんはお飯作ってくれるし、お布団敷いてくれるし・・・家族皆お互いの役に立っている、必要としあっている・・・花子の言葉は、とても深くて考えさせられる出来事でした。

「あなたがいてくれて良かった」この言葉は、お母さんの温かな想い愛情がいっぱい詰まった言葉です。こんな風に言われたら嬉しくって躍り上がってしまいそう。

ところが、幸せな場面だったはずなのに…意外な言葉を聞くことになってしまいました。花子ちゃんに直接言ったのではないのでしょうか、ご家族で何か仕事を分担しなくてはいけない時かもしれませんが、「花子じゃ役に立たないし…」と軽く言ったことがあった、軽い気持ちで！でも、花子ちゃんは、しっかりと聞いていて、「私は役に立たないのだ」と思い込んでいたのですね。だって、ご家族がそう言っていたのですから！言葉は影響が強いので、不用意に言ったことも、子どもにとっては「あなたは〇〇なのよ」と言われたのと同じなのです。花子ちゃんのお母さんは、ショックを受けながらも、とても賢い方ですから、花子ちゃんにきちんと聞いています。「本当に役に立たないの？」と。だから、花子ちゃんは自分で気づくことができました、本当は役に立っていた！お母さんは、役に立つ花子ちゃんである事を発見させてあげました、主体的に！これが重要です。取ってつけたかのように役に立つよ～と言っても分かってしまいます。花子ちゃんが自分で役に立つことに気づくことができ、よかった、本当に良かった。子どもに関することを、子どもがいる時に言うてはいけません。けなす言葉もほめる言葉も同様です、聞いていますからね。「あなたがいてくれて嬉しい」と言葉できちんと伝える機会を意識して作りたいですね。子どもが自己肯定感を持つことができるように♡

11月の予定

日	曜	給食	降園時間	行	事
1	日	/	/		
2	月	○	2:30		
3	火	/	/	文化の日	
4	水	○	2:30		
5	木	○	2:30		
6	金	○	2:30		
7	土				
8	日	/	/		
9	月	○	2:30		
10	火	○	2:30		
11	水	×	11:30	新入園児保護者会があります。降園時間が早くなります。	
12	木	○	2:30		
13	金	×	11:30	青陵幼稚園研修会です。降園時間が早くなります。	
14	土				
15	日	/	/		
16	月	○	2:30		
17	火	○	2:30		
18	水	×	11:30	誕生会です。11月生まれさんの保護者の方と一緒に祝いましょう。	
19	木	○	2:30		
20	金	○	2:30		
21	土				
22	日	/	/		
23	月	/	/	勤労感謝の日	
24	火	○	2:30		
25	水	○	2:30		
26	木	○	2:30		
27	金	○	2:30		
28	土				
29	日	/	/		
30	月	○	2:30		